

### 東京都町村社会教育委員連絡協議会 狛江市で第5ブロック研修会開催 テーマ「世代を超えて学びあうまちづくり」

社会教育委員の会議 委員長 羽田野英博

東京都町村社会教育委員連絡協議会第5ブロックの研修会を平成21年10月17日(土)エコルマ6階展示・多目的室で開催しました。

第5ブロックは、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市の6市で構成しており、今年度、狛江市は第5ブロックの幹事市になりました。

今回、ブロック研修会を企画するに当たり、第1回企画会議において、6市、6年間の成果を振り返り、第5ブロックとして共通のメッセージをつくらうということになりました。

特に府中市の芝会長から「学び返し」という言葉を府中市のみならず他市にも広めていきたいという積極的なご意見を頂き、三鷹市の岡村議長には世代論がご専門なので、今回のテーマである世代交流の論点分析、整理をお願いし、狛江市は、問題提起と事例紹介を担当することで、共同で研修会を実施しました。

#### 研修の要点

#### 論点分析・整理

【世代間交流と地域づくり】

○岡村清子さん(三鷹市社会教育委員会議議長)

問題提起その一  
【日独のスポーツ交流を通じて】

○高橋範子さん(狛江市社会教育委員)

企画の意図 ドイツ在住38年。青少年のスポーツに

関わって来られた経験から、日独比較をお願いする。

・戦後日本社会の大変動の中で、世代間交流は「子どもたちの養育環境の変化」

「高齢者世代の自立と孤立」「現役世代の雇用不安や経済不安」など、各世代の抱える問題解決の切り口の

一つである。

・世代間交流は高齢者の生きがい対策として始まり、対象は子どもだったが、その後幅広く展開された。

・学校教育における世代間交流は、「開かれた学校」づくり

に始まり、三鷹市の「コミュニティ・スクール」等学社融合を実現した例がある。

・地域社会における世代間交流により、子どもたちの成長に不可欠な「三間(さんま)

問題提起その二  
【現役世代からの視点】

○善養寺大作さん(狛江市社会教育委員)

企画の意図 社会教育の場面に顔の見えないミドル

世代の本音を聞く。

・子育て世代では、育児負担を夫がするのは当たり前

である。

・子どもが大きくなると、家族は同居人になる。食事は

一人でできるし、テレビも一人ひとり楽しむ。家

族での共通の話題は極端に少ないが、いつも一緒にいる

ためそのことを気にしない。

・受験競争で勉強さえてい

会教育登録団体を支援し、各種社会教育施設で学習機会

を提供している。放課後子ども教室は市内全小学校

で既に実施している。

・このように学びは盛んであるが、更に一層充実した

展開のために、現状の抱える課題を解決する方策として

「学び返し」を提言した。

・これは、伝統的な「手間返し」すなわち「困った時

に近所の力を借り、相手が困った時には手を貸す」と

いう意味の言葉を基に作った造語で、「自らの持つ

ている知識や技能を地域や他の世代に還元する」

ことを意味する。

での会話から生まれた。粗大ゴミ化したオヤジをピカ

ピカにするのが使命である。他の料理も楽しんでる。

・市内数か所に「蕎麦塾」を立ち上げるために指導員

を育成中で、「手打ち蕎麦の郷・狛江」構想の実現を

目指している。

◎同じメンバーがスタッフとなり、谷戸橋地区セン

ターでアマチュアの発表の場として「かわせみコン

サート」を開催している。

平成17年夏から毎月2回の開催で、65回を数える。

・音楽のジャンルも聴衆もボーダレスで、プロも登場

する。ミドル世代のアマチュアバンドに発表の場を

#### 中学校給食の実施状況

中学校給食の喫食率(給食を食べている生徒の皆さんの割合)と異物混入の状況

についてお知らせします。

中学校給食が始まって1年が過ぎました。多くの生徒の皆さんに食べていただ

いています。

なお、異物混入については、生徒や保護者の皆さん

にご心配をかけており、お詫び申し上げます。

異物混入の件数は減少していますが、今後とも厳しく

調理業者の指導監督にあた

ります。

食係

るとともに、教育委員会として従業員に意識啓発の研修

を実施するなど、引き続き混入防止に努力してまいります。

皆様のご理解をお願いいたします。また、アンケート

結果などを参考に、よりよい給食を目指し、関係者一

同、努めてまいります。

※教育委員会のホームページに中学校給食アンケート

の結果を掲載しています。

※喫食率は、当該年度の5月1日現在の生徒数を基

準に算出しています。

問合せ 学校教育課学事給食係

食係

異物混入状況の推移及び分析 (3カ月毎)

年度	月	生徒のみ(%)	月	件数	内 訳		備 考	
					計			
20	10	86.44	10月	6	18	毛髪 9件 木片 2件 虫 2件 プラスチック片 1件 ジュースのキャップ 1件 泡盛 1件 紙片 1件	主食(ご飯) 5件 副食(おかず) 12件 汁もの 1件 ※シチュー、カレーは汁ものに含む	木片のうち1件は漬物に混入
	11	82.85	11月	6				
	12	80.10	12月	6				
	1	75.76	1月	8	14	毛髪 8件 ビニール片 3件 ドレッシング袋 2件 爪楊枝 1件	主食(ご飯) 5件 副食(おかず) 8件 汁もの 1件 ※シチュー、カレーは汁ものに含む	ドレッシング袋は、中学校給食に使用したものを
	2	73.77	2月	5				
	3	71.56	3月	1				
	平均	78.41						
21	4	79.95	4月	0	5	毛髪 2件 虫 2件 ホッチキス針 1件	主食(ご飯) 2件 副食(おかず) 3件 汁もの 0件 ※シチュー、カレーは汁ものに含む	ホッチキス針は、豚の竜田揚げの衣に付着
	5	76.56	5月	1				
	6	75.03	6月	4				
	7	73.49	7月	5	6	毛髪 4件 繊維 1件 水あか 1件	主食(ご飯) 3件 副食(おかず) 3件 汁もの 0件 ※シチュー、カレーは汁ものに含む	8月は給食なし 水あかは、炊飯ラインでの混入疑い
	8	70.66	8月	0				
	9	71.22	9月	1				
	10	71.18	10月	0	2	毛髪 1件 ポリエチレン片 1件	主食(ご飯) 0件 副食(おかず) 1件 汁もの 1件 ※シチュー、カレーは汁ものに含む	
	11	71.09	11月	2				
	12	71.09	12月	0				
	平均	73.65						

喫食率 (月別)

【シニア世代のリサイクル事業】

○神原章造さん(狛江市谷戸橋地区センター運営協議会代表)

企画の意図 シニア世代をリードする圧倒的な企画力・行動力の秘密を聞く。

◎「元祖蕎麦打ち名人会」は、ジムのサウナ(託念所)

【芝喜久子さん(府中市生涯学習審議会会長)】

企画の意図 府中市が進めている「学び返し」を知

る。

・「学び」の現状..府中市にはリーダーバンク、生涯学習

運営グループがあり、情報窓口も存在し、千二百の社

手している。

・ドイツの青少年活動の組織・運営には若者が必ず参加

している。日本の社会教育の現場でも、世代を超え

た運営・組織・活動を行うことによつてお互いの理解

を深めることを提案する。本

当はない溝を「ない」と認める

ために。

。

期待される。

。

。